

授業料免除・徴収猶予

どちらかにチェックする。

入学年度を記入し、入学又は編入
学のいずれかに○を付ける。

小樽商科大学長 殿

年 月 日

提出年月日を記入する。

入学年度： 年度 ※ (入学・編入学) □学部 □大学院 学年： 年次

本人氏名： _____ 学生番号： _____
※本人が署名すること

本人 _____ TEL(携帯電話)： _____ FAX： _____
住所： _____
連絡先： _____

家計支持者氏名： _____
※家計支持者が署名すること
(留学生および社会人学生は
記入不要)

家計支持者 _____ TEL： _____
住所： _____
連絡先： _____

授業料免除・徴収猶予を申請するに至
った事情を具体的に記入する。
※世帯を構成する一人ひとりの状況

希望する欄にチェックを記入する。

現在、授業料を納付することが困難なため、関係書類を添えて以下のとおり申請
します。

●申請内容

授業料免除・徴収猶予を申請する。

(授業料免除を申請した場合、授業料徴収猶予も同時に申請したと取り扱います)

授業料徴収猶予のみ申請する。

(許可された場合、徴収猶予期限は 8月末となります)

●申請理由：世帯一人ひとりの状況等について、本人が詳細に記入すること。

父は、不況の影響により、2019年3月末に解雇されました。2019年4月から再就職したものの給料は以前の半分程度に減少してしまいました。

母は、2019年5月から家計を支えるためにパートをしていますが、勤務時間が限られており、それほど多くの収入は得られません。

また、私は3人兄弟ですが、姉は国立大学、兄は専門学校に通っており収入はありません。私は、勉学に集中したいと考えておりアルバイトをする時間が限られています。奨学金も受けてはいますが、家計から私の授業料を支払うことができません。以上の理由により、授業料の免除をお願いいたします。

家計支持者が無職の場合には、いつからその状況にあるのか、現在、生活費をどのようにまかなっているのか、再

過去に休学したことがある場合に記入する。
休学の理由についても該当するものに○を

※休学歴がある場合、その期間・理由を記入 年 月～ 年 月 病気・留学・その他 ()	※2019年度後期までの授業料納付状況 授業料： <u>納入済</u> ・ 未納	※前回の授業料免除状況 全額免除・ <u>半額免除</u> ・不許可・申請なし
---------------------------------------------------	---------------------------------------------	--------------------------------------------

前の期までの授業料の納付状況につ
いて該当するものに○を付ける。

前回の授業料免除の申請の有無及び
結果を記入する。

該当する項目に○を付ける。

家庭調書

該当する項目に○を付ける。
また、前年の1月以降に該当するに至った場合は、その年月を記入する。

続柄	氏名	年齢	現在の収入形態(該当するものすべて○をつけてください)
本人	1. 自宅 2. 自宅外	才	①大学生 2. 大学院生
就学者を除く家族	父	才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月以降の就職・転職の有無: 有(2019年2月)・無 2019年1月以降の退職の有無: 有(年月)・無
	母	才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月以降の就職・転職の有無: 有(年月)・無 2019年1月以降の退職の有無: 有(年月)・無
		才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月以降の就職・転職の有無: 有(年月)・無 2019年1月以降の退職の有無: 有(年月)・無
		才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月以降の就職・転職の有無: 有(年月)・無 2019年1月以降の退職の有無: 有(年月)・無
		才	給与・自営業等・年金・生活保護・失業手当・無職無収入・臨時所得 有・無 2019年1月以降の就職・転職の有無: 有(年月)・無 2019年1月以降の退職の有無: 有(年月)・無

前年12月以降、保険金等の臨時所得があった場合に○を付ける。

自宅外で独立している兄弟などは、記入しないこと。

申請日(前期:4月1日、後期:10月1日)現在の就学者について記入する。
前期に申請する場合は、3月卒業及び4月入学の兄弟についての誤記載に注意すること。

を記入してください。
だし、同居の祖父母等は記入し

国立の場合、前年度分の授業料免除の状況について、該当する項目に○を付ける。

続柄	設置区分	在学学校(学年)	前年度分 授業料免除状況 ※国立の就学者のみ	
			前期	後期
本人以外の就学者	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 ④大学 5. 高等専門学校 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程)	1. 無 2. 全額 3. 半額	1. 無 2. 全額 3. 半額
	1. 国立 2. 公立 ③私立	1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高等専門学校 6. 専修学校(高等課程) ⑦専修学校(専門課程)	1. 無 2. 全額 3. 半額	1. 無 2. 全額 3. 半額
	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高等専門学校 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程)	1. 無 2. 全額 3. 半額	1. 無 2. 全額 3. 半額
	1. 国立 2. 公立 3. 私立	1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 4. 大学 5. 高等専門学校 6. 専修学校(高等課程) 7. 専修学校(専門課程)	1. 無 2. 全額 3. 半額	1. 無 2. 全額 3. 半額

高校卒業後に入学する専門学校は、主に、専修学校(専門課程)。

(注1) 予備校生は就学者には該当しません。

特別控除関係	母子・父子世帯	父無: 生別・死亡(年月) ※死亡の場合のみ、年月を記入してください。 母無: 生別・死亡(年月) ※死亡の場合のみ、年月を記入してください。
	障がい者のいる世帯	続柄() 障がい者(障がい者手帳 有・無) 手帳番号()
		続柄() 障がい者(障がい者手帳 有・無) 手帳番号()
	長期療養者のいる世帯	続柄() 療養期間 年 月から
		続柄() 療養期間 年 月から
	家計支持者別居の世帯	続柄()
	火災・風水害等の災害を受けた世帯	被害年月日 年 月 日 被害内容
家計急変世帯	家計急変事由()	